

自動車関連窃盗情報報奨金 初の10万円を贈呈 ～贈呈式および自動車盗難防止イベントの実施～

愛知県自動車盗難等防止協議会(会長:小林 剛・NTP 名古屋トヨペット株式会社代表取締役社長)では、2月8日(水)に中川警察署で開催された贈呈式で、自動車関連窃盗情報報奨金として30代男性に10万円を贈呈しました。

この男性は、昨年10月、名古屋市内のコインパーキングに不審な車が停まっているのを発見し、愛知県警に通報した結果、犯人検挙に結びついたため、中川警察署から感謝状が贈呈され、当協議会から報奨金を贈呈したものです。

自動車関連窃盗情報報奨金制度については、2015年から当協議会で運営をしていますが、2022年4月から報奨金額を10万円に引き上げる運用改定(自動車盗にかかる情報のみ)を行い、今回、報奨金10万円が贈呈された初めてのケースとなりました。

当日、被贈呈者の男性から、「報奨金の制度は知らなかったがありがたい。通報が逮捕につながったのはうれしい。」とのコメントがあり、中川警察署の豊田署長から「メディアを通じて報奨金制度を県民に広く周知したい。皆さんの身のまわりでいつもと違う点や不思議だと思えることが警察には非常に有益な情報になる。怪しいと思ったら通報してほしい。」とのコメントがありました。

また、当協議会では、愛知県内で自動車盗難被害が急増していることを受け、贈呈式終了後に中川警察署がマックスバリュ篠原橋東店で実施した啓発イベントに参加しました。啓発イベントでは、啓発チラシ配付やナンバープレート盗難防止ネジの無料取り付けなど、自動車ユーザーへの直接的な啓発が行われました。

自動車盗難は全国的には減少傾向であるものの、愛知県内では2021年から増加傾向にあり、2022年は884件(前年比+139件)となりました。今回のような報奨金制度の運用や自動車ユーザーへの直接的な啓発が愛知県内の自動車盗難の減少に寄与することが期待されます。

当協議会では引き続き自動車盗難件数減少を目的とした啓発活動を進めてまいります。



<贈呈式の様子>



<イベントの様子>